

第三者評価表

評価期間: 令和2年度
《放課後等デイサービス: 職員向け》

第三者評価表とは、「利用者調査」と「事業評価」の2つの評価手法を用いています。「利用者調査」は利用者のサービスに対する意向や満足度を把握することを目的とし、「アンケート方式」を使用し、実施します。

目的として、本施設が事業運営の具体的な問題点を把握し、サービスの質の向上をさせ、よりよいサービス提供を行っていくことです。また利用者の適切なサービス選択のために評価結果を公表することを目的として実施されています。これは「良いところ」「努力すべきところ」を指摘するものであって、事業所の優劣をつけるものではありません。

※以下の手順で評価していく

ステップ1

保護者等による評価

○事業者から保護者等に対して、「保護者等向け評価表」を配布してアンケート調査を行う。保護者等からの回答は集計し、特記事項欄の記述を含めてとりまとめる。

ステップ2

職員による自己評価

○事業所の職員が「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」を用いて自己評価を行う。その際、「はい」「いいえ」などにチェックするだけでなく、各項目について「課題は何か」「工夫し

ステップ3

事業所全体による自己

○職員から回収した評価表を集計の上、職員全員で討議し、項目ごとに課題や工夫している点について、認識をすり合わせる。
○職員間で認識が共有された課題については、改善目標を立てる。討議の結果は書面に記録し、職員間で共有する。
○討議に際しては、保護者等に対するアンケート調査結果も十分に踏まえ、支

ステップ4

自己評価結果の公表

○自己評価結果の公表の仕方については、基本的には「改善目標」や「工夫している点」の主なものについて、できるだけ詳細に発信する（「はい」「いいえ」の数の公表を想定しているものではない）。
○保護者等のアンケート調査結果は、保護者等にフィードバックする（対外的に公表することまでは前提としない）。

ステップ5

支援の改善

○立てられた改善目標に沿って、支援を改善していく。

職員アンケート15名実施。び〜ず南施設全員からアンケートを実施しました。6項目について集計、意見をまとめています。

1. 環境・体制整備

職員4名で支援を実施。利用者数に対しての配置は満たしているが、活動や移動の際は注意しながら見守っていくことが必要。

2. 業務改善

事業所別会議を月1回行っており、その他に話し合いができるように時間を設けています。職員同士の話し合いを増やす事により、支援の質の強化、職員のスキルアップを目指していきます。

3. 適切な支援の提供

職員同士がしっかりと情報を共有し、適切な支援が出来るように心掛ける事が出来ている。引き続き、職員がしっかりと向き合いお互いが協力していくことが必要と思われる。

4. 関係機関や保護者との連携

家からの利用時、学校からの利用時で、しっかりと引き継ぎを行う。ペアレントトレーニングは法人内の他事業所で実施してあるので取り入れる方向で検討していく。

5. 保護者への説明責任等

基本、面談やモニタリングで施設へ来所してあるが、他に来所できる機会を増やす。

6. 非常時等の対応

災害に関しては毎月避難訓練実施(火事、水害、地震、不審者等)を実施。利用時に災害が起きる事を想定し、マニュアル等を把握し、保護者の方へ説明しておく。

第三者評価表

評価期間：令和2年度
《放課後等デイサービス：職員向け》

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12	3	0	着席しての課題に十分取り組んでいる。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	7	0	職員の急な休みがあると短い時間内での支援に無理がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	0	0	バリアフリーは適切であるが、車椅子バス乗車時に屋根があった方がよい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	12	3	0	放課後等デイの職員での申し送りや会議を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	2	1	保護者の意向により添うようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13	2	0	会報とホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	5	1	保護者利用者向けに行っていて改善点を見直している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15	0	0	2ヶ月に1回職員勉強会を行っている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	14	1	0	保護者との面談を行い、職員間で評価している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	6	4	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	6	0	課題や個別指導を共有している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	7	0	動と静を組み合わせるようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11	4	0	一日のスケジュールを決めて支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	2	0	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	2	0	毎朝、その日の打ち合わせ、前日の振り返りを行う。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	3	0	帰りバスの添乗等があるので振り返りや反省は翌日行う。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	1	0	毎日の日誌に細かく記入している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	13	2	0	中間評価、終了時評価を行い、計画を見直している。
関係機関 や保護者 との	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	9	3	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13	2	0	担当である児発管が参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	14	1	0	情報交換会がある他、下校、迎え時に必要事項の確認をしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	12	0	該当する利用者さんは現在いない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	9	1	りんどう学園の卒園児は、情報共有出来ている。現在の受け入れ状況が中高生である。

第三者評価表

評価期間: 令和2年度
《放課後等デイサービス:職員向け》

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
連携関係機関や保護者との連携	②4 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	12	3	0	担当者会議あり
	②5 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	6	0	今年度はコロナ渦で開始できなかったが毎年行っている。
	②6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	9	
	②7 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	10	4	
	②8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	1	0	連絡帳や必要な時は電話で伝えている。
	②9 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	9	4	
保護者への説明責任等	③0 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	2	0	
	③1 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	15	0	0	児童、保護者の方に寄り添うよう心掛けている。
	③2 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	7	5	
	③3 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	1	0	保護者に安心していただけるよう配慮している。
	③4 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14	1	0	月一回、び〜ず通信。
	③5 個人情報に十分注意しているか	14	1	0	
	③6 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	0	0	
非常時等の対応	③7 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	9	
	③8 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	14	1	0	
	③9 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	1	0	長期休み期間は参加、それ以上は毎月避難について話をしている。
	④0 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15	0	0	虐待防止会議を月1回行っている。
	④1 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11	3	1	身体拘束を要する場合は、計画に記載する。
	④2 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	11	0	現在、アレルギーのある利用者さんはいない。
	④3 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	2	2	

:前年度より高評価

:前年度より低評価

:変わらない